

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	これまで、ご利用実績や取り組みについての報告はされていたが、それをより伝えるための発信がなされていなかった。施設内外で何を行っているのか、よりわかりやすく伝えきれていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブログの更新</li> <li>・2ヶ月に1回の実施</li> <li>・議事録の作成、保管</li> <li>・参加されなかった方にもご郵送する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙ベースではなく、画像や動画を用いて伝えていく</li> <li>・参加者をできるだけ多く(関係者も含めて10名以上)</li> </ul>	12ヶ月
2	26	サービス提供の要となるケアプランについて、現状補把握、課題抽出、計画立案、提案の一連の流れでの作成がしっかりと出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングにて課題抽出をしっかりと行い、関係機関との連携でプラン作成を行う。</li> <li>・現場レベルでのサービスの質の向上</li> </ul>	期日管理をしっかりとした上で管理者とケアマネジャーがまず連携をする。そして、ご本人、ご家族様、関係各所との情報共有をし、記録として残しながら計画立案を実施していく。	12ヶ月
3	35	災害対策として、備蓄、連絡体制などの整備	備蓄に関しては3日間過ごせる分の備蓄を行う。連絡体制についてはITを活用しつつ、ご家族様、スタッフの安否確認ができるように整備する。また、避難訓練など近隣住民にもご協力をいただける関係づくりを行う。	3日以上の水・食料の備蓄・日常的に使うような保存性のよい食料品を少し多めに『買い置き』し、その備蓄(ストック)した食料品を、定期的に食べて、食べた分を買い足す「ローリングストック」の実施	12ヶ月
4	11	職員の意見の反映に関して	入居者にとってより快適な生活環境になるよう、また職員にとっても働きやすい環境となるように、話し合える環境を整えていく。	都度の意見や改善案等を話し合える時間を設け、ホーム全体の課題となる内容のものを管理者が把握し、必要に応じて管理者会議等経営層との話し合いの場で、意見や提案が出来るようにしていく。	12ヶ月
5	12	職員に関して	職員の技術及び知識の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ユニット会議で時間を作ったり、施設内研修の時間を設けたりしていく。</li> <li>・外部研修や、他施設への実習等への参加の機会を設け、職員に働きかけていく。</li> </ul>	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。